

自己評価		学校関係者評価		次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題	重点目標	評価指標・活動計画	評価		学校関係者の意見
〔1〕 特色ある学校づくりの推進	＊豊かな心を身につけた生徒の育成 ＊たくましい力を備えた生徒の育成 ＊大きな夢に挑戦する生徒の育成	評価指標 ① 規律ある学校生活を通じて、仲間と協力し共生できる生徒を育てる。 ② 適切な体験活動等を通じて、生徒一人一人の能力と個性を最大限に活かし伸ばす教育を推進する。 ③ 中高一貫教育の特性を生かした教育活動を通じて、夢の実現に向かう力を育てる。	評価指標による達成度 ・〈保護者アンケート〉「学校は生徒間の良好な仲間づくりができています」 91.5% (H30: 91.9%, H29: 87.8%) B ・〈生徒アンケート〉「学校行事や体験活動に積極的に取り組んでいる」 87.1% (H30: 89.7%, H29: 86.9%) B ・〈保護者アンケート〉「学校は適切な体験活動ができています」 96.2% (H30: 97.8%, H29: 95.5%) ・〈生徒アンケート〉「高校生と学校生活や行事を共にすることは、自分にとってプラスになっている」 89.3% (H30: 86.3%, H29: 86.0%) B ・〈保護者アンケート〉「学校は生徒の学力を伸ばす学習指導ができています」 82.2% (H30: 87.4%, H29: 85.2%)	総合評価 B (所見) ・保護者アンケートの評価では全20項目中で前年度比upした項目とdownした項目が同数であった。保護者や地域社会から一定の評価が得られている一方、改善すべき点も少なくない。 ・生徒アンケートの評価では全17項目中12項目で前年度比upしている。生徒は授業、行事、活動等に前向きに取り組む、意欲も向上している。 ・アルフレッド・ディーキンハイスクールとの交流を中心とした国際交流は、生徒・保護者から高く評価されている。日本の伝統文化について理解を深める学習活動も継続的に実施している。 ・開校当初から取り組んでいる朝夕の富東タイム、RRC、環境学習・人権学習を中心とした社会貢献プロジェクト、リサーチ&レポート、課題研究発表等は少しずつ進展している。 ・全国中高一貫教育研究大会の開催など、中高教職員が連携して取り組む会や行事を通して相互理解も深まり、「チーム富東」しての意識も高まっている。成果は保護者や他校に公開して発信できている。	○今後も「特色ある学校づくりの推進」を継続し、組織的・計画的な取組を充実させてほしい。 ① 併設型中高一貫教育校としてのメリットを生かした魅力的な教育活動を今後も継続・充実させてほしい。 ② 生徒の学力向上につなげる効果的な行事等の取組を今後も継続・充実させてほしい。 ③ 学校の支援により、国際交流を今後も継続・充実させてほしい。 ④ 豊かな国際性を育成するため、日本の伝統文化についての学習を今後も継続・充実させてほしい。 ⑤ 将来の夢につながるようなキャリア教育を今後も継続・充実させてほしい。 ⑥ 富東タイム、RRCなど富岡東中学校ならではの取組を今後も継続・充実させてほしい。
		活動計画 ・国際交流の取り組みを計画的に推進し、海外語学研修を充実させる。 ・子どもたちの将来の夢の創造につながるように、キャリア教育の取組を推進する。 ・各種学校行事が充実し、良き伝統が先輩から後輩へ受け継がれるよう、生徒会を中心に活動させる。 ・制服を美しく着る、さわやかな挨拶、奉仕精神など、本校の伝統的美質を伝える指導をする。 ・総合的な学習の時間を中心に、自らの個性を見つめ、自分の進路や人生を切り拓く視点を持たせる。 ・現行の良さを残しつつできるだけ多くの新しい意見も採り入れ、より良い教育環境を目指す。	活動計画による実施状況 ・姉妹校アルフレッド・ディーキンハイスクールに34名の生徒が訪れた。また、本校に2名の生徒を受け入れた。 ・「夢を育む大学訪問」や職場体験学習、ESDやリサーチ&レポート等の実施が将来の夢の創造につながっている。 ・富東祭など様々な学校行事で生徒会が自主的に活動し、行事を成功に導くとともに、良き伝統が先輩から後輩へ受け継がれている。 ・制服の美しい着こなし、さわやかな挨拶など、富岡東の伝統的な美質が中学生にも定着している。 ・環境問題や人権問題について有意義な学習ができた。全国中高一貫教育研究大会や阿南中学校区人権教育研究大会等での授業や発表を通して成果を発信できた。 ・各行事を実施する際には前年度の反省も踏まえ、教職員の意見を反映させている。行事後もアンケート等を実施している。		
		学校関係者の意見 ○各分掌・学年・教科で生徒の学力向上につなげる効果的な行事等を提案・実践していく。 ○アルフレッド・ディーキンハイスクールとの国際交流をさらに推進していく。ホストファミリー等との継続的な交流も学校がサポートしていく。 ○豊かな国際性を育成するため日本の伝統文化について理解を深める学習も充実させていく。 ○将来の夢につながる職場体験などキャリア教育の取組をさらに推進する。 ○富東タイム、RRC、社会貢献プロジェクト、リサーチ&レポート等、富岡東中学校ならではの取組をさらに充実させていく。			

自己評価			学校関係者評価		次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題	重点目標	評価指標・活動計画	評価	学校関係者の意見		
〔2〕 多様なニーズと地域の信頼に応え、地域と共生する学校づくりの推進	＊学校評価制度の活用と学校の活性化 ＊PTA、地域社会との連携を図る ＊ボランティア活動の推進 ＊ホームページのさらなる充実による積極的な情報発信	評価指標 ①学校評議員会・関係者評価委員会を開催して教育活動の改善を図る。 ②ホームページアクセス数が年間10万件以上になるようにする ③学年だよりを各学年で年間8回以上発行する。 ④阿南市内の小中学校・教育機関との連携を図る。 ⑤PTA組織を活性化し、各専門部の活動・自主活動を充実させる。	評価指標による達成度 ・学校評議員会・関係者評価委員会を開催するとともに総括評価表はホームページでも広く公開している。 B ・ホームページ充実によりアクセス数が年間11万件以上の見込みである。 A ・各学年で学年だよりをほぼ毎月（年間8回以上）発行している。 B ・各種研修会等に参加し、小中学校・教育機関との連携を図っている。 B ・保護者と協力して教育活動を行うため、PTA役員会、専門部会、参加行事を各1回ずつ増やしている。 B	総合評価 B (所見) ・阿南市中学校教育研究会の授業研究会に参加するなど、阿南市の各学校や教育機関との連携が深まっている。 ・中高全体のPTAと中学校のPTAとが連携した組織体制により、活動は充実し、保護者間の連携、地域との連携も深まっている。 ・保護者アンケートで、「学校は学校行事や授業参観等、保護者が参加できる機会を適切に設けている」97.0%（昨年度95.9%） 「学校は学校の様子を学校・学年だよりやホームページ等で適切に伝えている」93.1%（昨年度90.1%） 「学校には子どものことを相談しやすい雰囲気がある」83.4%（昨年度78.4%） 「学校は保護者と協力して教育活動を行っている」83.8%（昨年度83.3%）と高い数値で向上していることから、保護者からの理解と協力を得ながら教育活動を推進できていると考えられる。また、昨年度の課題も改善しつつあると考えられる。 ・地域の小学生は減っているが説明会参加者数・志願者数は昨年同数を確保できている。	○今後も「多様なニーズと地域の信頼に応え、地域と共生する学校づくりの推進」を継続し、組織的・計画的な取組を充実させてほしい。 ①保護者・生徒アンケートなど教育活動改善につながる取組を今後も継続・充実させてほしい。 ②ホームページや学年だよりによる広報や学校行事の公開を今後も継続・充実させてほしい。 ③地域防災訓練や清掃活動など、地域・保護者との連携につながる取組を今後も継続・充実させてほしい。 ④生徒・保護者が相談しやすいようになるよう、コミュニケーションを深める取組を今後も継続・充実させてほしい。 ⑤中高PTA活動がより有意義なものとなるような取組を今後も継続・充実させてほしい。 ⑥小中学校や教育機関との連携を深める取組を今後も充実させてほしい。	<課題> 「地域に開かれた学校づくり」をさらに推進し、地域・保護者との連携をより一層深めていく。 <方策> ○学校関係者の意見、保護者・生徒アンケート結果を尊重し、様々な教育活動の改善を図る。 ○ホームページや学年だよりをさらに充実させるとともに、様々な行事にできるだけ多くの地域住民や保護者に来ていただけるよう、積極的に広報していく。 ○社会貢献プロジェクトの一環としての地域防災訓練や清掃活動、ボランティア活動等で地域住民や保護者との連携を深めていく。 ○生徒・保護者とのコミュニケーションを深め、特に長期休業中の個人面談を充実させるなど、相談しやすい雰囲気作りに努める。 ○より充実した活動ができるよう、中高PTA組織のあり方や連携のあり方について検討・実践していく。 ○阿南市内の小中学校を訪問して広報するとともに、各種研修会に参加し、小中学校・教育機関と連携を深めていく。
		活動計画による実施状況 ・地域の教育力を活用するため学校運営について、有識者から意見を聞き、学校運営に反映する。 ・生徒会役員等を中心に地域の様々なボランティア活動等に参加し地域社会との交流を進める。 ・阿南市中学校教育研究会等の教職員研修組織に積極的に参加して指導等に生かす。 ・生徒・保護者とのコミュニケーションを深め、特に長期休業中の三者面談を充実させる。 ・阿南市PTA連合会の活動に積極的に参加する。 ・富東祭・公開授業等の公開行事を積極的に開催し、効果的に広報する。 ・ホームページの更新回数を増やし、学校行事や部活動の状況等、取組を積極的に発信する。 ・入学者募集説明会の開催や学校案内の配布により、小学生や保護者に対する広報をより効果的に行う。	活動計画による実施状況 ・地域の教育力を活用するため学校評議員会を開催して学校評議員等の意見を学校運営に反映させている。 ・社会貢献プロジェクトの一環として地域の清掃活動を行った。阿南市ボランティアフェスティバルにも参加している。 ・阿南市中学校教育研究会等に主体的に臨み、関係機関等との連携を図るとともに各教科の指導等に生かしている。 ・PTA総会時に学年懇談、夏・冬季休業中に三者面談を実施し、生徒・保護者とのコミュニケーションを図っている。 ・球技大会や研修会等、阿南市PTA連合会の活動に積極的に参加している。 ・富東祭やオープンスクールを実施し、保護者や地域の方々に本校の教育活動を公開している。 ・ホームページで学校行事、部活動、給食、学校保健、PTA活動等、学校の様々な取組について積極的に発信している。 ・阿南市内の小中学校を訪問して学校案内を配布し、本校の教育活動等を広報した。入学者募集説明会参加者数は約350名、入学者選抜志願者数は155名であった。			

自己評価			学校関係者評価		次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題	重点目標	評価指標・活動計画	評価	学校関係者の意見		
〔3〕 生徒の自主性の育成と基礎学力の定着。学力向上への取り組みの強化	* 生徒が意欲的に取り組む授業の創造と、生徒の確かな学力の育成 * 指導内容の精選と指導方法の工夫改善 * 自ら考え行動し解決できる資質や能力の育成	<p>評価指標</p> <p>① 研究授業（大研）を年間2回実施する。</p> <p>② 相互授業参観を年間1回以上実施する。</p> <p>③ 学習意欲がある生徒90%以上。</p> <p>④ 授業に積極的に取り組む生徒90%以上。</p> <p>⑤ 平均学習時間1日2時間以上の生徒70%以上。</p>	<p>評価指標による達成度</p> <p>・ 高校と合同校内研究授業の年間2回の実施に加え、専門機関との連携を図った研究授業も行った。 B</p> <p>・ 相互授業参観をすべての教科担当が年間2回実施した。 B</p> <p>・ <生徒アンケート>学習意欲が高まっている生徒81.4% (0.4 ㊦up) C</p> <p>・ <生徒アンケート>授業に積極的に取り組んでいる生徒91.5% (1.8 ㊦up) B</p> <p>・ <生徒アンケート>家庭で2時間以上学習している生徒64.6% (2.6 ㊦up) C</p>	<p>総合評価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p> <p>(所見)</p> <p>・ 学習意欲は昨年度よりポイントが向上したが指標に到達していない。授業への積極的な取組は昨年度よりポイントが向上し指標に到達した。生徒の良さを生かし、生徒がさらに自主的な学習を行えるよう指導を行う。</p> <p>・ 研究授業、また今年度より中高合同教科会を実施して指導力向上をめざした情報共有や研究協議を中高全体で行った。</p> <p>・ 「富東タイム」の活動成果として、英語の聞く力や読む力の着実な定着や、短歌・俳句の投稿を通して本校のめざす教育の特色づくりの推進及び発信を行うことができた。</p> <p>・ 家庭学習の習慣は、昨年度からの向上が見られたが指標には到達しなかった。今後も生徒の個々に応じたきめ細かな指導に努め、家庭学習の習慣づけを行う。</p>	<p>○ 今後も「生徒の自主性の育成と基礎学力の定着。学力向上への取り組みの強化」を継続し、組織的・計画的な取組を充実させてほしい。</p> <p>① 中高の教員の指導力向上につながる取組を今後も継続・充実させてほしい。</p> <p>② 生徒の意欲向上につながるような評価を今後も継続・充実させてほしい。</p> <p>③ 支援が必要な生徒への個別指導を今後も継続・充実させてほしい。</p> <p>④ 高校生・卒業生との交流や、高校教員による中高接続のための進路指導などを今後も継続・充実させてほしい。</p> <p>⑤ 生活実態調査や学習状況調査を有効活用する取組を今後も継続・充実させてほしい。</p>	<p><課題></p> <p>すべての生徒が高い志と強い意欲を持ち、楽しく学ぶ教育活動を充実させる。</p> <p><方策></p> <p>○ 中高の教員による研究授業等の校内研修を継続し、さらなる指導力の向上をめざす。</p> <p>○ 本校の実態に応じた、学ぶ意欲の向上につながる評価のあり方について検討する。</p> <p>○ 支援が必要な生徒について、個別指導をさらに充実させるとともに、自ら学び分らないところは質問する態度を育てる。</p> <p>○ 将来の夢や目標を意識させるために高校生や卒業生との交流、また今年度より実施の高校教員による中高接続のための進路指導を計画的に実施する。</p> <p>○ 生活実態調査や学習状況調査を計画的に実施し、調査結果をもとに家庭と連携・協同した指導の充実を図る。</p>
		<p>活動計画</p> <p>・ 研究授業・公開授業・外部講師招聘による教員研修、授業評価アンケート等を実施し、指導力の向上を図る。</p> <p>・ 学力向上検討委員会において、生徒の学力向上を図る授業の展開や評価のあり方等を検討する。</p> <p>・ 「富東タイム」について、さらに充実した取り組みとなるように努める。</p> <p>・ RRCの実施や具体的な学習目標の設定により、学習意欲の向上を図り、分からないところは質問する態度を育てる。</p> <p>・ 学習内容が定着していない生徒に対しては、テスト前や放課後の個別指導を実施する。</p> <p>・ 生活実態調査や学習状況実態調査を効果的に実施する。</p> <p>・ 教科担任は計画的・効果的に課題を出し、ホームルーム担任は学習記録表を提出させる等、家庭学習習慣が定着するように努める。</p>	<p>活動計画による実施状況</p> <p>・ 学期ごとの校内研究授業に加え、外部講師を招いた事前研修をもとに「主体的・対話的で深い学びに関する実践研究」を行い、その研究授業も中高の連携を図りつつ全教科で実施した。</p> <p>・ 学力向上検討委員会が作成した「学力・学習状況改善プラン」に基づいて学習指導の改善を行った。</p> <p>・ 「富東タイム」では短歌・俳句の創作やNHK基礎英語などを実施し、漢字検定や英語検定に多数合格するなど、着実な成果があった。</p> <p>・ 生徒アンケートで、RRCを学力向上に役立てている生徒が88.8% (3.0 ㊦up)となり向上が見られた。</p> <p>・ 生徒からの質問に応じたり、勉強の仕方を助言したり、個に応じた指導を実施した。また、基礎・基本を確認する小テストを実施して学力の定着を図った。</p> <p>・ 学習状況実態調査を実施し、学習時間やテレビ・ゲーム・スマートフォン等にあてる時間を調査し指導に役立てた。</p> <p>・ 学級担任と教科担任が連携して、家庭学習記録表の作成等の指導に取り組み、家庭学習を1日2時間以上している生徒の割合が64.6% (2.6 ㊦up)となり向上が見られた。</p>			

自己評価			学校関係者評価		次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題	重点目標	評価指標・活動計画	評価	学校関係者の意見		
〔4〕 中高一貫教育の円滑な実施	＊中高教員が連携した計画的継続的な指導計画を作成 ＊開かれた学校づくりの推進 ＊心のふれあう校風の樹立	評価指標 ①中学生と高校生の交流活動を、年間延べ10日間以上実施する。 ②中高教員によるTT指導を、週10時間以上実施する。 ③中高連携授業研究会を年間3回以上実施する。 ④中高の教員が一体となり、中高一貫の教育課程について検討する。	評価指標による達成度 ・富東祭・生徒総会など、中高合同の教育活動をのべ14日実施した。 B ・全学年で保体を、3年生は英語・数学・保体で、中高教員によるTT指導・習熟度別指導を実施した。 B ・相互授業参観を中高合同で実施した。 B ・中高一貫教育推進検討会を開催し、中高一貫教育の特色を生かした教科指導のあり方について検討した。 B ・〈生徒アンケート〉高校生と学校生活や行事を共にすることは、自分にとってプラスになっていると感じている生徒89.3%（昨年度比3.0ポイントup） B	総合評価 B （所見） ・開校10年が経過し、中高一貫校としての形が完成する中で学校行事や部活動など、中高合同の教育活動の実施が定着した。 ・教職員の指導体制や研究・研修体制についても中高の共通理解のもと、一体的な運営ができた。 ・中高の企画課を中心として、中高一貫の教育課程の編成など、本校独自の中高一貫教育のシステム構築について検討する体制が充実した。 ・中学校で一緒に活動してきた生徒が、高校へ進学した際の生徒アンケートで、「高校生と学校生活や行事を共にすることは、自分にとってプラスになっている」と答えた者が多くいる。	○今後も「中高一貫教育の円滑な実施」を継続し、組織的・計画的な取組を充実させてほしい。 ①教育課程の検討により、中高6年間で生徒の学力を最大限向上させるような取組を今後も継続・充実させてほしい。 ②富岡東中学校から進学した生徒と高等学校入学者選抜で入学した生徒の状況等を分析・検証する取組を今後も継続・充実させてほしい。 ③中高教員の連携による指導や取組を今後も継続・充実させてほしい。 ④他校との交流や実践研究などの取組を今後も継続・充実させてほしい。 ⑤中高生徒が連携する活動を今後も継続・充実させてほしい。	<課題> 中高一貫教育校としての6年間を見通した教育活動や組織体制をさらに充実させる必要がある。 <方策> ○教科学習を中心とした中高6年間のカリキュラム等について、企画課を中心に、検討を継続する。 ○富岡東中学校から進学した生徒と高等学校入学者選抜で入学した生徒の状況を様々な側面から分析し、中学校から高校への接続のあり方について検証する。 ○中高教員の連携による効果的なTTや習熟度別等の指導をさらに充実させる。 ○他校との交流・情報交換や、他校の実践例を研究などを本校の取組に生かす。 ○中高の生徒が連携し、合同で取り組む活動を充実させる。
		活動計画 ・教科学習を中心とした中高6年間のカリキュラム等について、中高合同の検討委員会等を開催して検討する。 ・（中・高）の企画課を中心に、中学校から高校への接続について本校の教育目標や生徒の実態に即した「富岡東スタイル」を確立する。 ・中高教員の連携による効果的なTTや習熟度別等の指導を充実させる。 ・他校の実践例を研究し、本校の取り組みに生かす。 ・中高の生徒が合同で取り組む活動をさらに充実させる。 ・中高相互の授業見学、研究授業及び研究協議を行う。 ・中高合同の学力向上検討委員会等において、生徒の学力向上を図る授業の展開を検討する。	活動計画による実施状況 ・富東祭（文化祭・体育祭）・生徒総会・防災訓練等の学校行事を中高合同で実施した。 ・音楽部・書道部・美術部などの文化部では、中高合同の活動が定着した。運動部では、体力・技能の差に応じて、可能な範囲で活動しており、高校の部活動への移行ができつつある部もある。 ・英語・数学・保体で高校の教員と中学校の教員が合同で中学校の授業を実施し、その授業を通して高校の教員が中学生の学習内容や到達度を具体的に把握することができた。 ・中学3年生の数学・英語で習熟度別授業を実施し、中高の教員が連携して学習指導に取り組んでいる。 ・（中・高）企画課を中心に、中高一貫教育推進検討会を開催するなど、中高合同で教育課程や学力向上に関する取り組みを検討する体制が充実した。			

自己評価		学校関係者評価		次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題	重点目標	評価指標・活動計画	評価		学校関係者の意見
〔5〕 特別活動の充実と「さわやかで活力あふれる富東」の精神の高揚	<ul style="list-style-type: none"> * あいさつ，マナー等の基本的生活習慣の定着 * 食育の推進と心身ともに健全な生徒の育成 * たくましく生きる精神力と，心豊かな人間性の育成 * 安全教育や防災教育の徹底と事故防止への取り組みの強化 	<p>評価指標</p> <p>①遅刻ゼロの生徒90%以上。</p> <p>②あいさつがきちんとできる生徒90%以上</p> <p>③部活動の参加率95%以上。</p> <p>④市レベル以上の各種大会・コンクール等での入賞が，年間延べ30人以上</p> <p>⑤食に対する意識が高まった生徒80%以上</p> <p>⑥登下校時の交通事故ゼロ。</p> <p>⑦HR担任と教科担任は，始業のチャイムを教室で聞く。</p>	<p>評価指標による達成度</p> <p>・〈生徒アンケート〉学校に来ることが楽しい87.34%(昨年度比1.9ポイントup) A</p> <p>・〈生徒アンケート〉遅刻ゼロの生徒97.9%(1.4ポイントup) A</p> <p>・〈生徒アンケート〉あいさつをきちんとしている生徒94.4%(昨年度比1.2ポイントup) A</p> <p>・部活動参加率99.6%(239人/240人) B</p> <p>・理数研究部が日本学生科学賞で，昨年度に引き続き県知事賞を受賞するなど，多数の受賞・入賞があった。 B</p> <p>・〈保護者アンケート〉朝食をきちんと食べて登校している生徒94.5%(1.7ポイントdown) B</p> <p>・自転車通学生の登校時，自動車との接触が1件，物損事故が1件あった C</p> <p>・HR担任と教科担任は，始業のチャイムを教室で聞いている。 B</p>	<p>総合評価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p> <p>(所見)</p> <p>・アンケートで「学校に来ることが楽しい」と回答した生徒や遅刻，あいさつに対する意識の割合が，昨年度と比較して上昇している。</p> <p>・朝食を食べる生徒がわずかに低下しているが，基本的な生活習慣や規律正しい学校生活に関しては，目標をおおむね達成することができた。校則や言葉遣いなどに関するアンケート結果も昨年度と比較して向上が見られた。</p> <p>・生徒同士，あるいは生徒と教師の人間関係も良好で，学校生活への高い満足度につながっていると考えられる。</p> <p>・部活動では，良い成果が見られ，運動部・文化部ともに積極的に活動している。</p>	<p>○今後も「特別活動の充実と『さわやかで活力あふれる富東』の精神の高揚」を継続し，組織的・計画的な取組を充実させてほしい。</p> <p>○今後も「特別活動の充実と『さわやかで活力あふれる富東』の精神の高揚」を継続し，組織的・計画的な取組を充実させてほしい。</p> <p>①通学時のマナー教育や安全指導を今後も継続・充実させてほしい。</p> <p>②中学校の部活動活性化のため，高校の部活動との連携や一体的な活動を今後も継続・充実させてほしい。</p> <p>③生徒個人の悩みや学級の問題などの早期発見，早期解決などにつながる取組を今後も継続・充実させてほしい。</p>
		<p>活動計画</p> <p>・あいさつの励行や清掃活動への主体的取り組みを促す。</p> <p>・生活ノートを活用し，個々の生徒の悩みや学級の問題点を発見し，早期の解決を図る。</p> <p>・自転車通学のマナーを向上させる取り組みを進めるとともに，通学路の交通立哨などの安全指導を充実させる。</p> <p>・ホームルーム活動，全校・学年別集会を通して，服装・頭髪・マナーについての自覚を高める。</p> <p>・定期的に生活実態調査を実施する。</p> <p>・高校の部活動との一体的な活動や連携を充実させ，活動環境をさらに整備する。</p> <p>・食育通信の発行や給食試食会の開催等，保護者と連携した食育を推進する。</p>	<p>活動計画による実施状況</p> <p>・富東生らしいさわやかなあいさつが定着した。清掃活動にもしっかり取り組んでいる。</p> <p>・始業のチャイムと同時に授業を始める習慣は引き続き定着している。</p> <p>・街頭交通指導を定期的実施した。</p> <p>・生徒会活動での服装チェックや，定期的に行っている昇降口指導により「制服を美しく着こなす」意識が定着している。</p> <p>・定期考査に合わせて生活実態調査を実施し，生活習慣の改善指導に役立てている。</p> <p>・高校の部活動との一体的な活動や連携を行い，活動環境を整備している。</p> <p>・給食だよりを毎月発行するなど，保護者と連携して食育を推進できた。給食への異物混入(毛髪・繊維)が複数回あった。</p>		
		<p>学校関係者の意見</p> <p>○今後も「特別活動の充実と『さわやかで活力あふれる富東』の精神の高揚」を継続し，組織的・計画的な取組を充実させてほしい。</p> <p>①通学時のマナー教育や安全指導を今後も継続・充実させてほしい。</p> <p>②中学校の部活動活性化のため，高校の部活動との連携や一体的な活動を今後も継続・充実させてほしい。</p> <p>③生徒個人の悩みや学級の問題などの早期発見，早期解決などにつながる取組を今後も継続・充実させてほしい。</p>	<p><課題></p> <p>自らの安全と公衆道徳に対する生徒の意識を高め，さらに学業に集中できるよう生活習慣を改善する必要がある。また部活動のあり方やその運営方法を見直す。</p> <p><方策></p> <p>○自転車通学や公共交通機関でのマナーを向上させる取り組みを進めるとともに，通学路の交通立哨などの安全指導を充実させる。</p> <p>○高校の部活動との連携や一体的な活動をさらに充実させるとともに中学生の部活動の活動時間や活動場所を確保する。</p> <p>○生活記録を活用し，生活習慣を見直させるとともに，個々の生徒の悩みや学級の問題点を発見し，早期の解決を図る。</p>		

自己評価			学校関係者評価		次年度への課題と今後の改善方策
重点課題	重点目標	評価指標・活動計画	評価	学校関係者の意見	
〔6〕 人権と環境に対する高い意識を育てる教育の実践	＊生徒一人ひとりの人権尊重の意識を高め、人権感覚を磨くために、教育活動全般をととした人権教育の取り組みを充実させる。 ＊校舎内外の環境美化に努めるとともに、環境問題に対する理解を深め実践力を育てる。	評価指標 ①人権意見発表会や人権教育講演会等を実施する。 ②教職員人権問題研修会を実施する。 ③保護者への人権啓発活動を積極的に実施する。 ④生徒の社会貢献への意識を高める。 ⑤全校的なボランティア活動を実施する。 ⑥環境問題を意識した生活ができている生徒90%以上。	評価指標による達成度 ・各学級の代表による人権意見発表会や人権かるた大会を開催した。 A ・教職員人権問題研修会を実施した。 A ・PTA活動や学校行事、各種配付物を通じて保護者への啓発を行った。 B ・10月の中高合同人権問題研修会を実施した。 B ・自分が社会のために何をなすべきかを考えさせた。 A ・様々な行事の時に、ボランティアを募集し活動した。 B ・ESD（持続可能な社会をめざした教育）を推進し、持続可能な社会をつくるためにはどうすべきかを考えゴミの分別等を徹底した。 A	総合評価 B	○今後も「人権と環境に対する高い意識を育てる教育の実践」を継続し、組織的・計画的な取組を充実させてほしい。 ①中高生集会などの有意義な取組を今後も継続・充実させてほしい。 ②身元調査お断りワッペン運動など人権委員会の取組を今後も継続・充実させてほしい。 ③学校の教育活動全体において人権教育の視点を活かす取組を今後も継続・充実させてほしい。 ④自他を大切にする生徒の育成を今後も継続・充実させてほしい。 ⑤ふるさとを大切にする生徒の育成を今後も継続・充実させてほしい。
		活動計画 ・「社会貢献」の視点を重視した人権教育や環境教育をいっそう充実させる。 ・人権や環境について、保護者と生徒が共に学ぶ機会を増やす。 ・学年だよりやホームページ等を通じて、学校での人権教育や環境教育の学習内容を、保護者に向けて発信する機会を増やす。 ・市P連の活動等を通して人権教育や環境教育における地域との連携をいっそう深める。 ・資源ゴミの分別回収や廃油の回収など、現在の取り組みをいっそう充実させる。 ・体験的な学習活動を充実させるなど、人権教育の学習方法を工夫改善する。	活動計画による実施状況 ・ESDをすすめるとともに、自分も他人も大切にする人権意識の構築を行った。 ・福井町ふるさと人権フェスティバルに生徒が参加した。 ・中高合同で、人権教育研修会を実施した。 ・「富東人権新聞」を6回発行し、中学生からの提言・意見も随時掲載した。 ・阿南市人権教育研究大会や阿南市人権啓発講演会などに、PTAから参加した。 ・節電の徹底などの省資源活動や資源ゴミの分別収集などが定着した。 ・「中・高生による人権交流事業」に生徒が参加し、人権意識を高めた ・身元調査お断りワッペン運動に、日程の都合で参加できなかった。 ・修学旅行で平和講話を聞いたり、宿泊学習で、人権コンサートを開催したりした。		

自己評価			学校関係者評価		次年度への課題と今後の改善方策	
重点課題	重点目標	評価指標・活動計画	評価	学校関係者の意見		
〔7〕 組織力で迅速かつ有機的に動く教職員集団の構築	<ul style="list-style-type: none"> * 個々の教師に頼ることなく、「報告・連絡・相談」の意識を徹底 * 生徒の状況等について教職員が情報を共有する環境の整備 * 教職員が自主的に研修に参加し、資質の向上のために自己研鑽に励む意識の高揚 * カウンセリングに関する専門的な知識やスキルの会得と、協働する組織の構築 	<p>評価指標</p> <p>① 服務規律に関する研修会を開く。</p> <p>② コンプライアンス、情報セキュリティ等の研修を充実させる。</p> <p>③ 不祥事を未然に防止する、風通しのよい職場環境を作る。</p>	<p>評価指標による達成度</p> <p>・ 服務規律に関する研修会を実施し、アンケート結果から教職員がよく理解している状況が確認できた。 B</p> <p>・ コンプライアンス、情報セキュリティについては、全体研修以外にも職員朝会時のミニ研修を行った。セルフチェックやアンケート結果から教職員がよく理解している状況が確認できた。 B</p> <p>・ 教職員が相談しやすい職場環境作りに努め、校長・教頭との面談も随時行っている。 B</p>	<p>総合評価</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">B</p> <p>(所見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中高全体の職員会議・研修や朝会以外に、中学校職員会や打合せ会等の機会を捉えて、共通理解を深め、遵守事項確認、意識徹底等が図れている。 ・ 教職員間のコミュニケーションもとれており、「報告・連絡・相談」しやすい職場環境の中、適切に「報告・連絡・相談」が行われている。 ・ 三者面談や生徒面接等で知り得た生徒・保護者等の情報を教職員間で共有できており、指導にも活かされている。 ・ 教職員は各種の研修に主体的に臨み、資質向上のために自己研鑽に励んでいる。アンケート結果等からも教職員のコンプライアンスや情報セキュリティについての意識は高いことが確認できている。自動車運転する際の交通違反・事故には特に気をつけるよう努めている。 ・ スクールカウンセラーとの連携により、問題や悩みを抱える生徒・保護者の不安を軽減し、よりよい学校生活を送ることができるような支援体制を整えている。 	<p>○ 今後も「組織力で迅速かつ有機的に動く教職員集団の構築」を継続し、組織的・計画的な取組を充実させてほしい。</p> <p>① 「報告・連絡・相談」が徹底するような教職員間のコミュニケーションを今後も継続・充実させてほしい。</p> <p>② 働き方改革を推進し、風通しのよい職場環境作りの取組を今後も継続・充実させてほしい。</p> <p>③ コンプライアンスや情報セキュリティ、カウンセリング等について関係機関等と連携し、生徒の適応力向上や、教職員の指導力向上などにつながる取組を今後も継続・充実させてほしい。</p> <p>④ 携帯電話等のネットリテラシーについて、子どもたちがトラブルに巻き込まれないよう、情報教育を今後も継続・充実させてほしい。</p>	<p><課題></p> <p>教員一人一人の資質・能力のさらなる向上を図るとともに、教職員集団の組織力向上、学校全体の教育力向上を図る。</p> <p><方策></p> <p>○ 管理職を中心として、教職員間の「報告・連絡・相談」をシステムとして徹底するとともに、「報告・連絡・相談」しやすい職員室・教職員体制を作るため、コミュニケーションの一層の充実を努める。</p> <p>○ 業務の可視化、共有化、効率化により、働き方改革を推進し、ワーク・ライフ・バランスにも配慮した風通しのよい職場環境を作る。</p> <p>○ コンプライアンスや情報セキュリティ、カウンセリング等について関係機関等と連携し、生徒の適応力を高めるとともに、教職員の遵守事項確認、意識徹底、実践力向上等を図る。</p> <p>○ 携帯電話等のネットリテラシーについて、子どもたちがIT社会でより良く生きる力を身につけ、トラブルに巻き込まれないよう、情報教育体制を整える。</p>
		<p>活動計画による実施状況</p> <p>・ 管理職を中心として、教職員間の「報・連・相」をシステムとして徹底するとともに、コミュニケーションのいっそうの充実に努め、風通しの良い職員室・教職員体制づくりを推進する。</p> <p>・ コンプライアンスや情報セキュリティ、また、カウンセリング等の研修を充実させ、今日的な問題に適切かつ迅速に、組織として対応できるようにする。</p> <p>・ 携帯電話等のネットリテラシーについて、子どもたちがIT社会でより良く生きる力を身につけ、トラブルに巻き込まれないよう、情報教育体制を整える。</p>	<p>活動計画による実施状況</p> <p>・ 中高全体の職員会議や朝会以外にも中学校職員会や打合せ会等の機会を捉えて、課・学年・教科での周知事項や生徒の健康・学習・人間関係における注意すべき状況等について共通理解を深めている。また、普段のコミュニケーションを充実させ、相談しやすく風通しのよい教職員体制づくりに努めている。</p> <p>・ 中高全体の職員研修以外にも職員朝会や中学校職員会等の機会を捉えて、コンプライアンスや情報セキュリティ、また、カウンセリング等の遵守事項確認、意識徹底、実践力向上等を図っている。</p> <p>・ 警察や関係機関等と連携し、外部講師を招いて携帯電話の正しい使い方など、生徒のネット社会への適応力を高める講演等を実施するとともに、情報教育における教職員の指導力向上を図り、情報教育体制を整えている。</p>			